

第27回 飯山市民芸術祭

— 創造と参加するよろこび —

★ 展示発表 ★

期日：4月14日(土)、15日(日)
AM9:00～
会場：飯山市民館・飯山市民美術館

【参加団体・個人一覧】(2月28日現在)

飯山市華道会(池坊 草月流 草月流 池坊 梶井宮御流)
飯山市書道協会(可南書塾 寿宝会 墨悠会)
飯山日本画協会(信濃日本画院 さくら会 楓の会
こぶしの会)
飯山水墨画協会(椿の会 すみれ会 水墨会 水曜会)
手芸の 千曲みずる会 和・ド・ライ ちぎり絵グループ
柳原書道クラブ 写楽会 柳原陶芸クラブ 草の花 仏像彫刻
パッチワーク(かたくりの会 ネットの 菜の花
かすみ草 みゆきの 師匠の会
太田公民館)
渡辺一 松澤芳宏 村松和夫 今清水重之 武田仁守
木内順一

★ 舞台発表 ★

期日：4月22日(日) AM9:30～
会場：飯山市民会館(城山)

【参加団体・個人一覧】(2月28日現在)

白鳥ハル学園飯山教室 みゆき野吹奏楽団
飯山市民劇団「土」 女声合唱団フィオーレ コルカタクリ
ユー・エルク こはる日の会 花房会 心のうたハーモニカクラブ
キタとケちゃん まろうづ 飯山混声合唱団
河藤たつ千代社中 奈良沢千代藤会
飯山子どもと本をよむ会 奥信濃大正琴連絡会
カササギ吹奏楽部 ibuki 木村サカセみしぐれ 飯山吟道会
with J しろやま道場 Mickey&AQUA
いいやまの元気な仲間たち ザ・メイプル 島田美代
飯山ハーモニカクラブ 轟 昭二 もみじ会 安田清涼会
シルバー歌声教室 世界の踊りフォークダンスクラブ
ハイソング(ハビタス&アハスマイル) 簡化二十四式太極拳
大正琴篠原教室 NATTY 男組 東雅洋社中

お問い合わせ先 飯山市民会館内 飯山市民芸術祭事務局(電話62-3341)

平成19年度 総合学習センター

親子のふれあい広場

趣旨・・・こんなことが目的です。

- 1、子どもと遊べる親になる。
- 2、遊びを通して子どもが育つことを体得する。
- 3、子どもの発達を理解し子育てに自信を持ち、乳幼児の健康増進と健全な発育をはかる。
- 4、親どうしがふれあい、共に学習することを通し連帯感を深める。

対象者

各コース申込時に、1歳6ヶ月以上で保育園・幼稚園入園前の幼児と、親または祖父母

申し込み

総合学習センター飯山市民館で電話にて受付します。 **電話62-3342**
* 各コースとも定員になり次第締め切ります。(初めての方を優先します。)

Aコース 会場：太田地区活性化センター(緑の村管理センター)

回	月日	内容	受付期間
1	5/9 (水)	開講式・リズムあそび	4月10日(火)～4月23日(月)
2	5/23 (水)	野外あそび	参加費 400円(初回に納入)
3	6/6 (水)	おさんぽ	時間 午前9時30分～11時
4	6/20 (水)	ブーメランあそび・閉講式	定員 20組

Bコース 会場：常盤地区活性化センター

回	月日	内容	受付期間
1	7/4 (水)	開講式・リズムあそび	6月5日(火)～6月18日(月)
2	7/18 (水)	七夕あそび	参加費 400円(初回に納入)
3	8/1 (水)	水あそび	時間 午前9時30分～11時
4	8/22 (水)	ごっこあそび・閉講式	定員 20組

Cコース 会場：総合学習センター飯山市民館

回	月日	内容	受付期間
1	9/5 (水)	開講式・わらべうたあそび	8月7日(火)～8月20日(月)
2	9/19 (水)	運動あそび	参加費 600円(初回に納入)
3	10/3 (水)	遠足	時間 午前9時30分～11時
4	10/20 (土)	お父さんとあそぼう	定員 30組
5	11/7 (水)	おさんぽ・やきいも	いっしょにあそぼう
6	11/21 (水)	新聞あそび・閉講式	

Dコース 会場：総合学習センター飯山市民館

回	月日	内容	受付期間
1	12/5 (水)	開講式・わらべうたあそび	11月6日(火)～11月19日(月)
2	12/19 (水)	クリスマス会	参加費 600円(初回に納入)
3	1/9 (水)	つくってあそぼう	時間 午前9時30分～11時
4	1/23 (水)	雪あそび	定員 30組
5	2/2 (土)	お父さんとあそぼう	
6	2/20 (水)	ふれあい歌あそび・閉講式	

人権学習シリーズ

「保育所における人権保育」

あきは保育園 園長 丸山明美

新聞、テレビなどで青少年をめぐるさまざまな問題を賑わす現在、就学前、長い子で5年間、短い子でも3年間ほど過す保育所の生活は言わば根っこを育てる大切な時期です。

飯山市はどの保育所でも命の大切さや自尊心を育み、思いやりを育てながら人権保育に視点を当てながらカリキュラムを策定してそれに基づいて、その園の特色を出しながら活動しています。

あきは保育園は現在、60名ほどの園児がいます。異年齢保育や地元中学生との交流などに力を入れていきます。特に中学生との交流は毎年、定期的に行われ、園児はもちろんです。が中学生にとっても貴重な体験の場であると思えます。「わー！可愛い！」「小さい手だね。」などと言葉を発しながら抱っこしたり、おんぶしたり、一緒に鬼ごっこをする様子を見るにつけ、「共育」の場がここにあるのだと痛感します。中学生が持つてきてくれる手作りおもちゃを待ち、遊び方の指導を受けながら一緒に楽しむ姿。中学生は気に入って一緒に遊ぶかと思いきや、園児の顔を

覗き込み、園児が遊び始めるとホッとする表情に変わります。中学生が帰る際、「また来てね。」と送り出す姿や繋いだ手をなかなか離そうとしない姿、短い時間で親しく別れを惜しむ姿。お兄ちゃん、お姉ちゃんのやさしさやたくましさを感じ、大きな事への希望やあこがれが育ちます。又、中学生も自分自身を振り返り、どの子ども大切に育ててきた事を肌で感じて欲しいと願っています。「あなたたちも小さい時にこんな楽しさを感じたんだよ。」とメッセージを送りたい気持ちになります。大人になる過程でこの経験が少しでも役立つよう、活動内容をさらに考慮し、今後も続けていきたいと思っています。

さまざまな交流や体験活動を通して心豊かに、そして相手の気持ちや理解できる人になるために保育所の役割はますます大切になってきます。まずは私たち保育士の人間としての感性や資質が問われている事を自覚しながら、チームワークを大切に温かい活気ある保育所にしていきたいと考えています。